

ずっと昔、87年前のことです。私たちのご先祖さまは、このアメリカという場所に、新しい国を作りました。「みんなが自由で、すべての人は生まれながらにして平等だよ」という大切な約束を信じて、国を立ち上げたのです。

今、私たちは大きな戦争をしています。同じ国の人同士で戦う、とても悲しい戦争です。この戦争は、自由と平等を大切にす私たちの国が、これからもずっと続いていけるかどうかを試しているのです。

私たちは今日、その戦争の決定的となった激戦地に集まっています。この国がこれからも生きていけるようにと、ここで自分の命をささげてくれた人たちがゆっくり眠れる場所を作るため、私たちはやって来ました。私たちがそうするのは、とても当たり前で、正しいことですよね。

でも、もっと大きな意味では、私たちがこの場所を特別なものにしたり、神聖なものにしたりすることはできません。ここで一生懸命に戦った勇敢な人たちが、生きている人も亡くなった人も、もうすでにこの場所をものすごく特別なも

のにしてくれているからです。私たちの小さな力では、そこに何かを付け足すこともできないのです。

世界中の人たちは、私たちが今日ここで話したことになんてあまり注目しないだろうし、すぐに忘れてしまうかもしれません。でも、あの勇敢な人たちがここでしてくれたことは、絶対に忘れることはないでしょう。

だからこそ、今生きている私たちがやらなければならないことがあります。それは、ここで戦った人たちがこれまで立派に進めてくれた、まだ終わっていないお仕事を、私たちが引き継いで一生懸命がんばることです。

私たちの目の前には、大きなお仕事が残されています。亡くなった立派な人たちは、この国の大義を守るために、自分の持っているすべて、自分の命さえもささげました。

私たちもその姿からもっと強い気持ちを受け取って、「彼らの死を絶対に無駄にはしないぞ」と、ここで固く心に誓いましょう。神様のもとで、この国がもう一度、本当の自由の

国として生まれ変わる事。そして、みんなの、みんなによる、みんなのための政治が、この世界から決してなくならないようにすることです。